



たか やま とよ よし  
**高山豊吉**

## どうなる 公共施設の整理・統廃合

～地元の意見を重視～

**質**

廃止対象施設の現状はどうなっているのか。

**答** 企画部長

平成20年3月に第1次分173施設の見直し案を公表したが、平成22年3月に109施設を第2次分として公表する予定です。

第2次・第3次公表分は、市民生活への影響が大きな施設であり、公表後は速やかにまちづくり委員会へ諮問するなどしたい。

**答** 教育次長

第1次公表分では、給食調理場の5施設が廃止済みです。

他の教育委員会関係の施設については、利用者の状況などを勘案しながら検討していきたい。

**質**

本年度中に統廃合を予定している小学校の跡地利用は。

**答** 教育次長

長谷小・犬飼小通山分校・上緒方小・小富士小・緒方小の統廃合については、統廃合協議会で学校施設をいかに活用するのか、皆さまからの意見・要望を出していただきたい。

**質**

小中一貫校制度の検討は。

**答** 教育長

市は小中の連携を進めているが、小中一貫校制については、今後大いに研究をしていきたいと思っています。



**質**

政権交代による国の行政刷新会議で、各種事業の仕分け作業が行われている。  
市の対応は。

**答** 市長

地方交付税、子ども手当、税制改正などの今後の国の動きに注意が必要であり、県と協調して予算編成を進めます。

## 平成22年度 当初予算案策定は

～国の動向を注視～



えとうちよこ  
恵藤千代子

**質**

一時保育を公立の4園が実施していないが、地域格差が生じていないか。

**質**

病後児保育を公立おがた総合病院で実施を。また、対象を小3まで拡大を。

**答**

保健福祉部長

現状は、通常の保育で手一杯です。地域性を勘案しながら検討してまいりたい。

**答**

保健福祉部長

県の補助事業を活用、地域性を勘案し検討してまいりたい。

## ”子育て支援

## さらに充実を

地域性を勘案し検討する

**質**

室内・外遊びのできる三重ふれあい児童館の実現はいつ。



手狭な三重ふれあい児童館

**答**

市長

現状で良いとは思っていない。利用者の意見を聞き、既存の施設を含め検討してまいりたい。

**質**

学園が提案した三重高校跡地の利用計画の進捗状況は。

**答**

市長

2学科の4年制への移行、また、国際製菓調理専門学校の移転は、現状では困難な状況にあります。

**質**

市民に説明した経済波及効果の見通しは。

**答**

市長

現時点では、3740万円程度の直接的な効果がありますが、当初の計画には全く及ばない。

さらなる効果が得られるよう協力をお願いしてまいります。

**質**

市が期待する社会的効果をあげるために、市は学園とどのような関わりで今後対応していくのか。

**答**

市長

今後、8項目の特約条項の遵守、相互間の連携を密にし、地域に密着した施設となるよう努力していきたい。

## 市が期待の後藤学園

～地域に密着した施設へと努力～